

学科名	電気通信工学科						
科目名	電気工学基礎実験Ⅱ(取りまとめ)						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	必修(組込みシステムコース)/必修(電気エネルギーコース)/必修(情報システムコース)						
担当者	原谷 直実						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> 交流計器の取り扱いと計器を用いた交流電気磁気測定法を習得する。(A2,A6,B1,B2) 線形受動素子を含む交流回路の周波数特性を理解する。(A6,A7,B3) ダイオード(非線形受動素子)を含む回路の性質と応用について理解する。(A7,B3) 回路の過渡現象について理解する。(A6,A7,B2,B3) 機器や文献の調査研究、技術レポート作成手法を学ぶ。(A4,A10,B2,C1,C5) 						
日程と内容	<p>第1回: ガイダンス: 授業の進め方と概要、実験実施日程、成績評価法等、授業に関する説明 実験テーマ: (1) 交流回路の測定、(2) 交流磁界の発生と測定、(3) ダイオードによる整流回路、(4) 過渡現象、を第2回から第9回まで実験実施日程表に基づいて行う。これらの実験が終了した者のみ、応用実験に着手できる。</p> <p>第2回: 実験第1回 第3回: レポート第1回 第4回: 実験第2回 第5回: レポート第2回 第6回: 実験第3回 第7回: レポート第3回 第8回: 実験第4回 第9回: レポート第4回 第10回: 応用実験①(回路実装) 第11回: 応用実験①(回路実装) 第12回: 応用実験②(回路実装) 第13回: 応用実験②(回路実装)、授業実施実績確認、授業評価 第14回: 実験予備日、応用実験②(回路実装)、授業実施実績確認 第15回: 実験予備日、応用実験②(回路実装)、授業実施実績確認</p>						
成績評価基準	定期試験		実技				60%
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	40%	プレゼンテーション				
	課題		計				100%
	演習						
授業到達目標の達成度	実習内容については、実験実施時に全員が体験したことを確認している。データの整理、レポート作成については、レポート提出時に達成水準に到達するよう指導し、到達した者のみレポートを受理している。以上のことより、合格した学生については、授業到達目標を達成したといえる。						
反省点	成績評価の対象となるための「基本実験」4テーマの実習が完了しなかった学生が3名(定期試験受験者数から除外している)、「基本実験」のレポート提出が完了しなかった学生が6名、「基本実験」のレポートはすべて提出したが、合格点に達しなかった学生が1名であった。これらが不合格者の全貌である。再履修生に、レポート未提出が多く見受けられた。応用実験のテーマによる難易度のばらつきに学生が不満を感じていることをTAから報告を受けた。						
来年度の計画	今年度、応用実験について大幅に変更したので、来年度は変更の予定はない。また、平成29年度から新カリキュラム対応となり、テーマが大幅に変わる予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	自学自習時間(2.3)は、もう少し改善して欲しい。総合評価8.2は、まずまずと思う。今年度は、合格確定後も応用実験を続ける学生が多かったのは良かったと思う。アンケート実施者数も58名と、大幅に改善した。						
履修登録者数	71名	定期試験 受験者数	68名	合格者数	61名	合格率	90%